

平成25年松前町議会 第1回定例会 3月6日～12日

平成25年松前町議会第1回定例会は、3月6日に開かれ12日閉会しました。
今回の議会には、平成25年度一般会計予算をはじめ、各会計の平成25年度予算など29件の議案が提出され、いずれも慎重審議の結果、原案どおり可決されました。

平成25年度 町政執行方針

平成24年4月11日松前町長として重責を担わせていただくことになりました。これから、1年を迎えました。この間、町民の生活を守る使

第1回定例会に提出された議案

件 名	議決結果	議決月日
平成25年度松前町一般会計予算	原案可決	3月12日
平成25年度松前町国民健康保険特別会計予算	原案可決	3月12日
平成25年度松前町介護保険特別会計予算	原案可決	3月12日
平成25年度松前町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	3月12日
平成25年度松前町水道事業会計予算	原案可決	3月12日
平成25年度松前町病院事業会計予算	原案可決	3月12日
平成25年度松前町一般会計補正予算（第1回）	原案可決	3月12日
平成24年度松前町一般会計補正予算（第8回）	原案可決	3月6日
平成24年度松前町一般会計補正予算（第9回）	原案可決	3月7日
平成24年度松前町国民健康保険特別会計補正予算（第3回）	原案可決	3月6日
平成24年度松前町介護保険特別会計補正予算（第4回）	原案可決	3月6日
平成24年度松前町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）	原案可決	3月6日
平成24年度松前町水道事業会計補正予算（第1回）	原案可決	3月6日
平成24年度松前町病院事業会計補正予算（第3回）	原案可決	3月6日
松前町新型インフルエンザ等対策本部条例制定について	原案可決	3月7日
松前町暴力団排除条例制定について	原案可決	3月7日
松前町営住宅等の整備基準を定める条例制定について	原案可決	3月7日
松前町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	原案可決	3月7日
松前町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定について	原案可決	3月7日
松前町指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定等に関する条例制定について	原案可決	3月7日
松前町道路の構造の技術的基準等を定める条例制定について	原案可決	3月7日
松前町高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造に関する基準を定める条例制定について	原案可決	3月7日
松前町準用河川管理施設等構造条例制定について	原案可決	3月7日
松前町水道布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する基準を定める条例制定について	原案可決	3月7日
松前町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	3月6日
松前町営牧野管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	3月6日
松前町地域包括支援センター設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	3月6日
渡島西部地域障害程度区分認定審査会共同設置規約の変更に関する協議について	原案可決	3月6日
松前町財政調整基金の支消について	原案可決	3月12日

命を担うことの重大さを痛感しながら、町政運営に向き合い、「愛する松前町のため、活力のある、心豊かなまちづくり、そして、住んで良かったと実感できるまちづくり」を基本姿勢とし、その実現のために取り組みできました。町議会議員並びに町民の皆様の深

いご理解とご協力をいただきましてことに、心より感謝申し上げます。
現在、東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故、長期化している経済の停滞、さらにはT P P協定などをめぐる動きは、国全体が揺れ動く問題となっております。また、政権交代が行わ

れ激動の予感がする平成25年度であります。先行きや向かう方向が見えない状況であります。
地方においても、急速な少子高齢化の進行に加え、経済や雇用の低迷など、社会経済環境は一段と厳しさを増しております。加えて、政権が安定しないと地方自

治体への影響は大きなものがあります。
このような状況下において、松前町が松前町であり続けるために、松前の豊かな自然、文化、歴史、地域資源を最大限活用して、次のステップに確実に前進できるような活力と笑顔があふれるまちづくりに力を尽

くしてまいります。

平成25年度は町長就任後初めての予算編成であります。

「若い世代に希望を与え活力のある松前町」を目指した、攻守バランスのとれた予算編成に意を配し、対応したところであります。ここに、平成25年度の予算編成にあたり、主な施策の内容について、総合計画に掲げる基本計画に沿って申し上げます。

歳 出

力を合わせて産業をおこす豊かな町

水産業

海水温の上昇、磯焼け現象など自然環境の変化に加え、組合員の減少や高齢化により、依然として漁獲量の減少傾向は続いております。この対策として、ここ数年、漁組と連携し、蓄養殖や加工による付加価値対策を実施してきましたが、

より前進できるよう本年度もナマコ養殖事業、ニシン増殖対策や漁業者が主体的に取り組むアワビ養殖、コンブ養殖などに支援してまいります。

また、漁組では、ウニなどの直接加工と昨年度整備した海水水施設を活用した高鮮度出荷による高単価販売に、積極的に取り組む考えを示しておりますので、マグロ延縄漁業の餌料輸送蓄養試験事業とともに支援してまいります。

漁港整備や漁業資源増殖のための魚礁や産卵礁の投入については、今後も国や北海道などの関係機関に要望してまいります。現在整備中である第3種江良漁港は、蓄養による生産拡大が可能となる基盤整備が本年度完成する予定でありますので、その施設整備費は補正予算で対応してまいります。

スルメ加工工業は当町で最も雇用の多い産業でありますので、引き続き消費拡大

への支援とともに、イカ残滓対策が滞らないよう関係者と協議してまいります。

また、年々、加工従事者の高齢化も進み、労働力の確保が課題となっておりますが、本年度も各企業で外国人労働者の受け入れを行いますので、住居提供などの面で支援してまいります。

トドやオットセイなどによる漁業被害の問題については、北海道や漁連、各研究機関などとも連携して継続的な被害軽減対策を講じてまいります。トド対策については補正予算で対応してまいります。

畜産業

市場価値の高い優良子牛を低コストで生産できるようにするため、草地改良等を行うとともに、伝染病に対する防疫思想を高揚させ、繁殖経営の安定につながるよう支援してまいります。

畑作農業

食の安心・安全が強く求められる時代ですので、低農薬野菜づくりに励む農家

の指導や自家消費中心の営農者等を支援してまいります。

観光

宿泊業や飲食業などの直接的受益者だけでなく、漁業者や地域の商工業者へも経済的恩恵をもたらす裾野の広い産業分野であります。当町は、城と桜に代表される観光地としての地位を築いてきましたが、北海道新幹線開業を好機と捉え、

これからは、近隣町と連携した広域観光の展開を図り、地域資源を活かした滞在時間の拡大により交流人口を増やし、町内における雇用の確保や経済活動の活性化に努めてまいります。

また、体験交流については、交流の里づくり館を拠点に、利用の拡大を図ってまいります。さらには、松前の知名度アップのため、仙台での道南地域の食のイベントへの参加や、北関東方面(大宮)へのキャンペーン、大漁くんによるパフォーマンスなどの観光PRを

行ってまいります。

公園管理

桜の老木対策として樹木診断と樹勢回復作業を引き続き行うとともに、桜の管理マニュアルに基づき桜の保護・保存に努めてまいります。また、北鷗碑林や日本庭園、新桜見本園など高台ゾーンの維持・管理も松前花の会などのご協力をいただきながら進めてまいります。

松前温泉休養センター

指定管理者において、利用者等の意見を取り入れながらサービスの向上が図られております。施設の老朽化による設備の更新や修繕に意を配し、温泉運営に支障が出ないよう努めてまいります。

商工業の振興

人口減少や購買力の低下により、取り巻く環境は厳しさを増しています。商工業者の商業活動が困難になると、町民生活への影響も甚大でありますので、地域の商工業活動の活性化への

方策を、商工会とともに考えてまいります。

労働

松前町就職サポートセンターでは、求人情報の提供や就職相談を実施しており、一定の成果を収めています。地元出身者が経営する企業の情報提供を行うなど雇用先の確保に努めてまいります。さらに、地元での失業認定事務についても、引き続き町内で失業認定事務が行われるよう、函館公共職業安定所に働きかけてまいります。

自然を愛する 美しい町

生活環境整備

ごみの減量化に向けては、古紙類の集団回収の促進や資源ごみの分別を促すべく、今後も町内会など諸団体への支援や広報広聴活動などに取り組んでまいります。また、環境改善を図るため、各町内会等と連携しクリーン作戦や花いっぱい運

動、ごみの不法投棄防止対策に取り組んでまいります。

なお、渡島西部広域事務組合で共同運営している、し尿処理施設は本年度に新施設完成の予定であります。

林業

地材地消の動きが活発化してきており、地元林材が有機的に使われるよう流通体制の確立を目指してまいります。また、北海道が進める普通林道勝軍山線開設事業の早期完成を引き続き要請してまいります。

若い力を育てる 明るい町

教育指針条例の推進

平成20年7月に制定した教育指針条例に定める5つの教育指針の実現に向け、基礎学力の向上や書道教育、ふるさと学習の一層の推進など、歴史や文化財など先人から引き継がれている教育資源を生かした取り組みを進めてまいります。

学校の適正配置

本年4月には、白神・松前・館浜・松城の4小学校が統合となりますが、統合校が円滑にスタートできるように、十分配慮してまいります。なお、統合後の白神・松前・館浜3小学校施設の利活用については、先の松前町学校施設利活用検討委員会からの報告を踏まえ、さらに地域住民と協議をしてまいります。

また、平成27年4月の中学校の統合に向けては、中学校統合準備委員会を組織し、円滑な統合が図られるよう努めてまいります。

松前中学校の改築

老朽化や耐震化への対応が急がれている現在の松前中学校は、敷地の一部を使用して現地改築することとし、本年度から着工し、平成27年度までの3か年事業として取り組んでまいります。改築にあたっては、地元の木材を使用した木造平家建てとし、学校給食共同調理場施設も併設してまい

りたいと考えております。

愛媛県まさき町との姉妹都市交流

愛媛県まさき町との姉妹都市交流事業は3年を経過し、小学生が互いに相手の町を訪ね、北国と南国の風土を肌で感じる体験は有意義なものとなっております。まさき町と協議の結果、本年度は、従来とは異なり、松前町は夏季の訪問とし、まさき町からの受入れは冬季に実施することになりました。

松前高等学校への支援

松前高等学校のフランス国ブザンソンのルイパスツール高校への研修派遣は、日本の伝統文化の紹介や現地の方々との交流などを通して、生徒一人ひとりが自信を大きく深めて帰国し、松前高等学校の魅力と特色を発信しておりますことから、本年度も引き続き実施することとし、今後詳細を詰め、補正予算で対応してまいります。

先人の遺産をだいに する文化のかおり 高い町

また、松前高等学校に通学する生徒の保護者を対象に、通学費や下宿費用の一部を補助することにより、保護者負担の軽減と安定した高等教育の場の確保に努めてまいります。

金子鷗亭記念北鷗碑林

平成20年に金子鷗亭生誕100年を記念し、鷗亭の石碑13基と門人の石碑71基、計84基の碑林を設置しました。本年度は隣接する道路沿い等に門人の方々の石碑36基を創玄書道会のご支援をいただき、新たに設置してまいります。また、その完成に併せ、実行委員会組織による記念式典及び祝賀会の開催を実施してまいります。

松前城の復興・天守

築50年が経ち老朽化も進んでいることから、平成22年度の松前町史跡福山城保

互いに仲良く 助け合う平和な町

存整備審議会の答申を踏まえ、平成23年度に耐震調査を実施したところです。その結果、地下1階を除き、

1階から3階については、

現行の耐震基準を満たしておらず、耐震性に疑問があるとの診断が示されました。

復興天守の整備の在り方とその活用方法について、

平成23年12月に松前町史跡福山城保存整備審議会に諮問しているところであり、

同審議会の答申内容や、町の財政状況なども十分踏まえながら、整備の方向性について、検討を進めてまいります。

道道松前港線の整備

平成26年度の道路改良に向け、本年度が福山地区用地購入の最終年度となります。家屋や用地の補償対象となっておられる関係者のご理解とご協力を得ながら、松前らしい街なみづくりに取り組んでまいります。

医療

町立病院を中心に、町民

の健康に対する安心・安全の確保、責任をしっかりと果たしてまいります。本年度

の町立病院の医師体制は、多少の異動はありますが、現在の10名体制が維持される予定です。

町立病院の経営は、町民の皆様はじめ関係各機関のご支援をいただき順調に推移していますが、引き続き

院長はじめスタッフとともに、町立病院の理念である「地域医療拠点病院として『より信頼され、愛される病院』を目指して」努力してまいります。

昨年は、病院事業管理者を置き、その職務を院長に担っていただくことになりました。町民の皆様はじめ

関係各機関のご支援をいただき、よりスピード感をもって病院の使命を果たしてまいります。また、院長

は全国プライマリ・ケア連合学会理事及び同会北海道ブロック支部長にもなり、より広い立場で全道、全国の地域医療発展にも関わっています。その活動は必ず

や町立病院の発展、町民への医療サービスの向上につながるものと確信しております。

さらに、友好姉妹病院協定を締結した砂川市立病院とは連携が徐々に深まり、

本年度には研修医9名（期間 1か月から3か月）が町立病院での研修を希望されていきますので、これを受け入れる予定です。このこ

とは、より一層研修病院としての充実が図られ、町民の皆様に対する医療の質及びサービスの向上になるものと思っております。

町立病院は、さまざまに先駆的取り組みをして町民の皆様にお応えしてまいります。

老朽化著しい病院の改築ですが、所信表明でも述べましたとおり町民の命と健

康を守るためにも重要な施設でありますので、改築に向けた取り組みを進めてまいります。

子育て支援

子どもの健やかな成長を支えるための子育て支援策として、中学生までの医療

費の無料化を本年4月1日から実施いたします。

健康づくり

健康への関心を高め、毎日健康で明るく暮らせるように、脳ドック検査や各種

がん検診等の受診の促進と健康意識の普及啓発を図るため、無料クーポン券によるがん検診推進事業をはじめ、各検診に対する助成事業を引き続き実施してまいります。

予防接種

これまで、65歳以上の方

を対象に助成しておりましたインフルエンザ予防接種について、助成範囲を拡大し、新たに、15歳以下の子どもの接種希望者に対して

も助成をしてまいります。

高齢者支援

高齢者世帯等に対する冬期間の経済的な負担軽減を図るための福祉灯油の助成については、補正予算で対応してまいります。

介護保険

第5期介護保険事業計画（24～26年度）において、地域密着型サービスの整備を位置付けております。地

域密着型サービスの中からより優先度の高いサービスを選定し、サービス事業者

の募集及び決定をしてまいります。

国民健康保険事業

平成24年度は赤字に転落する見込みであります。当面は税率改正を行わず、今後の推移をみて判断してまいります。

公共交通

現在、松前高校生徒への通学費補助を行っており、継続して利用向上環境に努めてまいります。

また、昨年10月から運行しているコミュニティバスについては、引き続き本年

度も4月から9月まで運行してまいります。

今後は、町民の町内移動の利便性、さらには利用者の立場に立った、松前町にふさわしい公共交通のあり方について検討してまいります。

町道・河川の整備

国の日本経済再生に向けた緊急経済対策を踏まえた平成24年度大型補正予算による「地域の元気臨時交付金」を活用し、補正予算で対応してまいります。

町営住宅

建石地区に1棟2戸の整備を計画しており、補正予算で対応してまいります。

水道事業

安心・安全な水道水を安定的に供給できるよう、福山地区配水管改良工事のほか耐震管による導水管や配水管の更新工事に取り組むとともに、老朽化が進む機械設備の更新など各施設の整備と維持管理に努め、事業の円滑な運営を図ってまいります。

災害時の対応

災害時の対応については、日頃からの心がけが大切でありますので、防災意識の高揚を図るため、町が主体となる防災訓練をはじめ、防災のしおりを活用した、各町内会における自主的避難訓練に対しても支援を行ってまいります。

昨年、姉妹都市であります福島県伊達市と大規模災害時における相互応援に関する協定を締結したところでありますが、本年度は愛媛県まさき町及び滋賀県近江八幡市とも協定を締結してまいりたいと考えております。

震災や大規模災害時の情報伝達的重要性から、すべてのテレビ中継局の停電対策が義務化されました。松前町が所有する「松前テレビ中継局」も対象となることから予備電源装置を整備してまいります。

現在、消防救急無線はアナログ通信方式で運用しておりますが、電波法の改正

により平成28年5月までにデジタル通信方式に移行しなければなりません。

このため、本年度は実施設計に係る経費の松前町負担分を渡島西部広域事務組合負担金（消防部門）に計上したところであります。

交通安全対策

引き続き関係機関と連携を密にしながら街頭啓発やパトライト作戦など町民参加型の交通安全運動を展開し意識の高揚を図ってまいります。

火葬場

火葬炉の修繕を実施してまいります。

歳入

歳入の大部分を占める地方交付税は、算定基礎となる人口の減少により大きく減額されており、加えて政府は地方公務員の給与削減に向け地方交付税の削減を図ろうとしておりますので、減少傾向はさらに続くものと

考えられます。

また、政権交代の影響から国の予算編成も大幅に遅れ、地方交付税等の影響額が把握できず、過大な積算を避けるとともに円滑な財政収支を図るため、財政調整基金を編入し予算を編成したところであります。

さらに、国の平成24年度大型補正予算による「地域の元気臨時交付金」については、平成25年度の地方単独事業に最大限交付金を充当させたく、道路、河川改良事業等は、あえて補正予算としたうえで、積極的に臨時交付金を活用したいと考えております。

このような厳しい財政状況にあって、今後予想される大型事業に伴い公債費も年々高く推移し、将来の財政負担が標準財政規模を大きく超えることが見込まれますが、行財政の一層の効率化を図りながら財源確保に努めてまいります。特に自主財源であります町税及び税外収入については、債

権管理条例や行政サービスを制限する条例により、歳入の確保と収入未済額の圧縮に努めてまいります。

長引く経済不況や深刻な過疎・高齢化の現状においては、税収の増加は見込めない状況にあります。高齢化社会に向けた対策をはじめ、保健福祉施策の充実、社会資本の整備、産業の振興及び雇用対策などの行政課題が増大しておりますので、それらに対応しながら、先を見据えた規律ある財政運営に意を尽くしてまいります。

かつてない大きな変革の時代の中、地方を取り巻く情勢は、大変厳しい状況が続いておりますが、直面する諸課題に全力で取り組みますので、町議会議員の皆様並びに町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。